

聖徳大学

和香庵



本学園の建学の精神である“和”は、聖徳太子の「和ヲ以テ貴シト為ス」によるものでありますが、この教えを香りゆかしく後世に伝えるため、先代の裏千家御家元千宗室宗匠（現・鵬雲斎汎叟千玄室宗匠）により名づけられた茶室「和香庵」は、まさしく本学の“聖徳教育”を行なう場所として、その中心的な施設となっております。

茶道は16世紀室町時代末、千利休によって確立され、現在では世界の国々で嗜まれております。その基本には、茶道に基づく「一期一会」という言葉で代表されるように、誠実な心で人に接する出会いを大切にしております。

本学園では、人とのかかわりを大切にし、それを実践する場の一つとして茶室や作法室で心の教育を重ねております。この冊子により、本学園の心の教育を、ご理解いただければ幸いです。

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長

学園長 川並 弘昭





和香庵





小間の床の間、軸は第十五代家元鵬雲斎宗匠筆。



水屋から見た小間（右）と広間（左）。



上／厳かな雰囲気を出す水屋。
 左下／客を快くもてなす腰掛。
 右下／露地の風景。



広間に面した露地には一面に黒砂利が敷かれ、刻々と変わる外光の変化で表情は千変万化する。



自然光を取り入れた、静かに客人の利用を待つ広間。

左／山野を意識して樹木が配置された外庭は茶室、作法室から臨むことが出来る。

中／飛び石の大小を組み合わせることによって遠近感を強調した築山の妙。

右／季節ごとに密かに生命を競演する草花たち。





聚楽壁ぞいに茶室玄関を見る。



作法室

左／作法室前室から式台、寄付をとおして全体をうかがう。

中／作法室の水屋は全体に広く感じられる。

右／奥の作法室からはこのように外庭を臨むことが出来る。

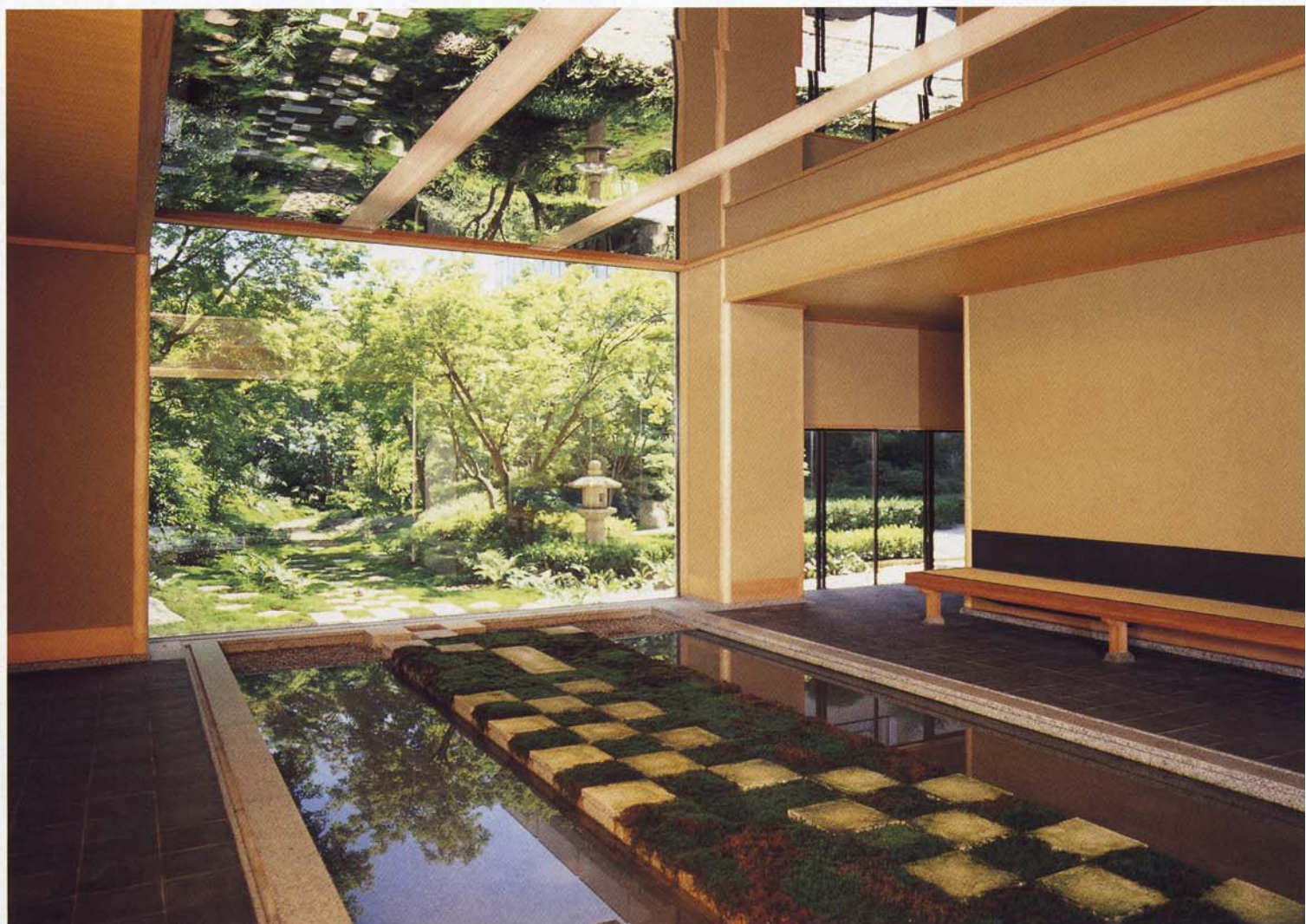


一日の内に様々な表情をみせる赤松材を使用した作法室、床の間。



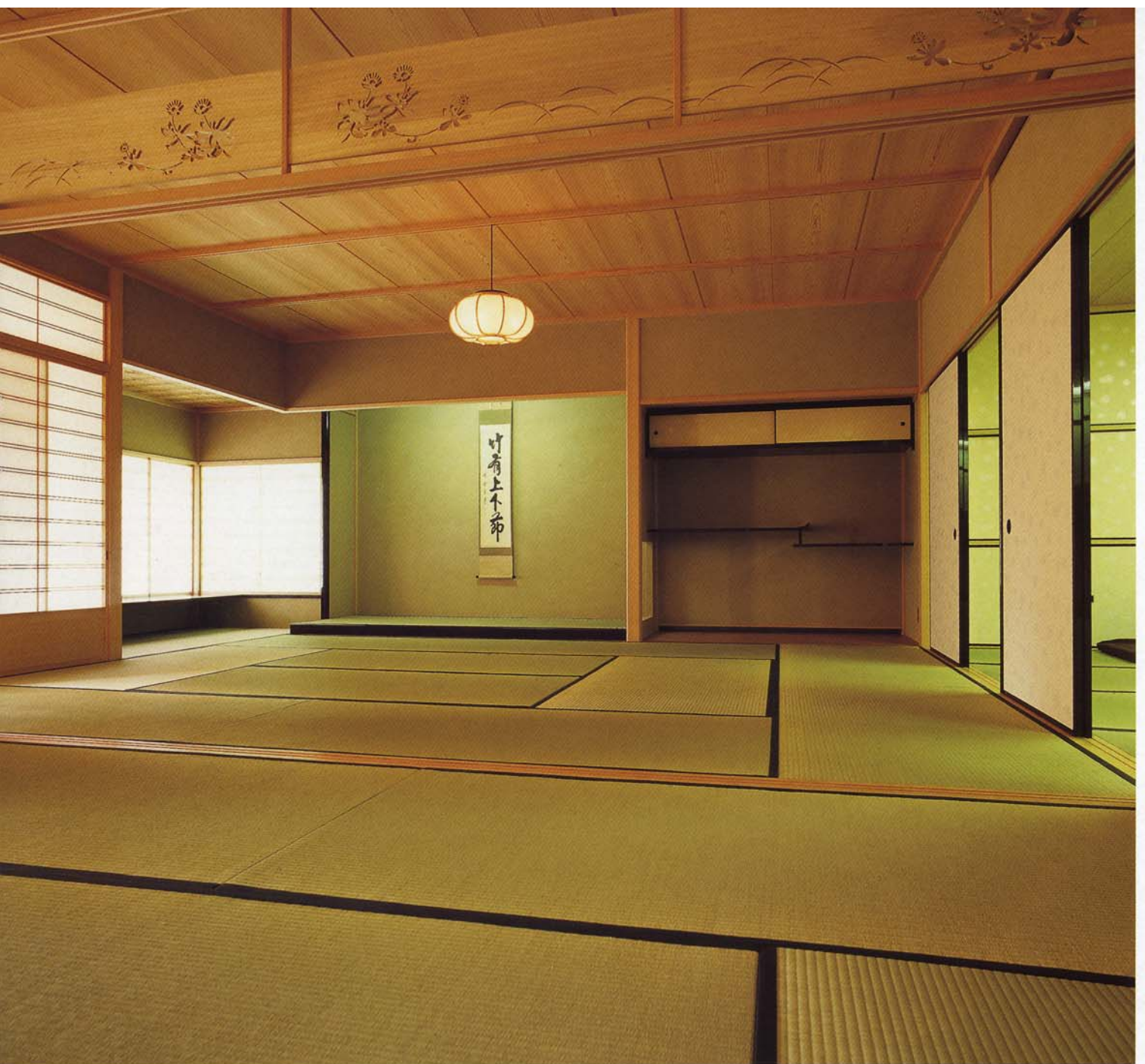
障子を開放すれば二十畳の
広間が出現する。

聖徳大学附属中学校 聖徳大学附属高等学校



立居振舞いを学びます。

「礼法」を授業として系統的に学べるのは本校ならでは。和の心は人との交流を通して学びます。



聖徳大学附属小学校



一人ひとりの個性を大切にしながら協調する心を育てます。

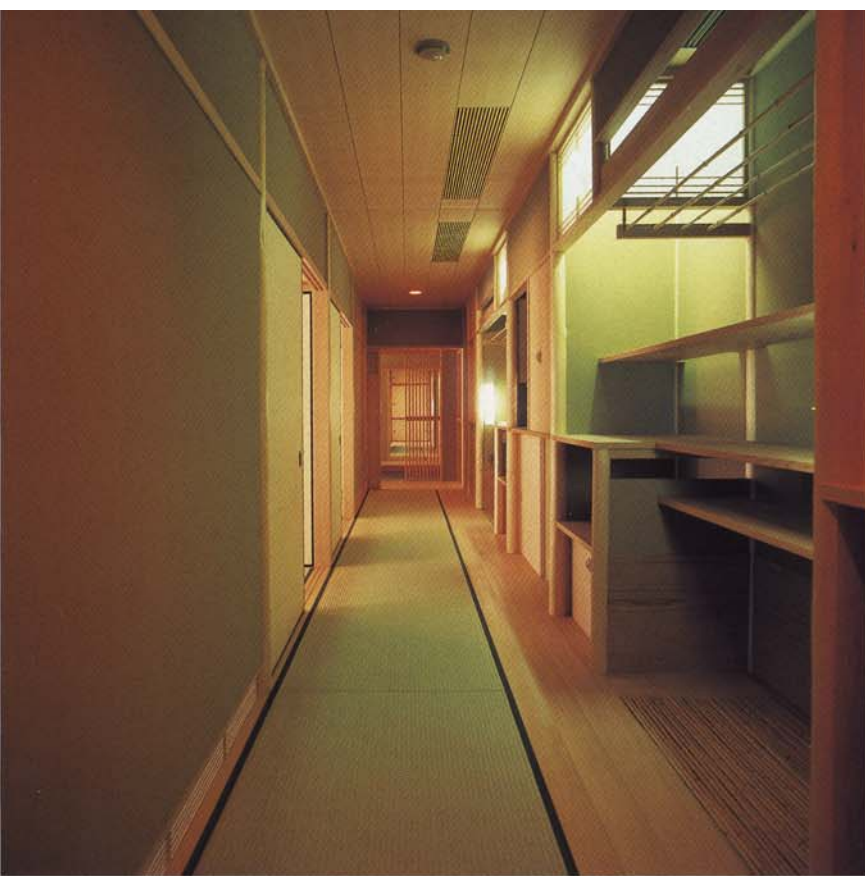


授業といった日々の学園生活に挨拶の仕方を取り入れています。

聖徳大学附属聖徳中学校 聖徳大学附属聖徳高等学校



「礼法」の授業では、伝統的な書院造りの和室で人への思いやりと真心を大切にするための作法を学びます。

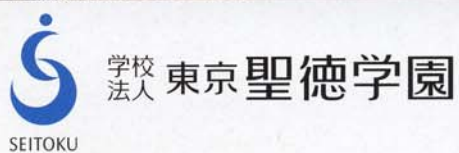


畳敷の廊下が広間をつなぐ。

「心を育てる人間教育」の实践として
小笠原流礼法の授業が行われています。



白砂を敷きつめた外庭。



〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550
TEL.047-365-1111 (大代表)



編集 聖徳大学川並記念図書館



07.02.03.NH